⑥おなかへった（舌・タッチセンサー）

ファービーにごはんをあげるのは、とても大切なお世話です。お腹がすいていると、あまり反応してくれなくなりますし、ひどいときには病気になってしまうこともあるのです。ごはんのあげ方は、とても簡単。いつでもどこでも、あげることができます。ほしがったらすぐに食べさせて、いつもごきげんでいてもらいましょう。

ごはんのあげ方 ごはんのあげ方は、舌のタッチセンサーを押せば OK。口を閉じているときは、開いて舌を押してね



おもちゃのスプーンなどで舌を押せばごはんになります。製品には含まれていないので、何を使うか工夫してみてね



ごはんの道具が手元になくても、指で を押せばそれでOK。いつでもファー ーに食事をさせることができます

本物の食べ物や飲み物は絶対に あげないでください。ファービー はぬれると故障してしまいます。 ごはんは、あくまでも舌のタッチ センサーを押すだけでいいので



タッチセンサー
口の中にある赤い舌がタッチセンサー。押すと食事をしたと判断します。ごはん以外には使いません

ごはんがほしいときのファービー語

お腹がすいた＝エイ、テイ
私はお腹がすいた＝カァ／エイ、テイ
私はとてもお腹がすいた＝カァ/ミー、ミー/エイ、テイ
私にごはんをください＝ドゥ、モゥ／エイ、テイ
もっと＝コゥ、コゥ
お腹いっぱい＝トゥ、ダイ

ヘイ、カァ ミーミー エイ、テイ ワァ!!



ごはんをあげるとファービーは「もぐもぐ」と言って喜びます。お腹がすくと6～10回食べたがるので、ほしがるだけあげてください。お腹がいっぱいになると「トゥ、ダイ」と言ったりゲップをしたりして教えてくれます。

ファービーのお腹がすいているときにごはんをあげないと、あげるまで遊ばなくなってしまいます。「お腹がすいた」というファービー語を覚えて、言われたらあげるようにしましょう。

おたすけメモ⑦
すごくいっぱい食べるのですが……

ケース・バイ・ケースです。だいたい6～10回くらいでお腹いっぱいになりますが、病気になったりしたとき（P23参照）は、もっと食べます。ほしがっているときはあげていいのです。

おたすけメモ⑧
ほしがるまでごはんをあげなくてもいいの？

お腹がすいているのに何も言わないでいることもあります。気がついたらごはんをあげるようにしてください。いらないときはゲップしたり「トゥ、ダイ」と言ったりします。